障がい福祉サービス事業　喜(よろこび)

生活介護

創作活動と作品作り

喜（よろこび）では、利用者さんが充実した日中活動を過ごせるようご自身で参加したい活動を選択して頂くことを大切にしています。例えば、菜園活動（野菜の収穫）と創作活動（アート）のどちらを参加したいか、朝礼、昼礼時に一人ひとりに尋ねる事を大切にしています。職員側が、本人さんの意思を汲み取りきれない場合は、本人さんの好みやその日の体調や気候等を考慮して職員間で相談して選ばせていただいています。

今回は特に利用者さんに人気の活動である創作活動についてお話します。

各自、自由な発想と様々な道具の提供で思い思いの作品を創られています。今年度の喜のテーマ「利用者さんの心の声を言葉にしよう」を日頃の創作物からも読み取る努力をしています。絵描きが大好きでずっと描いていたい気持ちを抑えられない方は、創作の時間一杯思う存分描いていただく事で、落ち着いて行えるようになりました。好きな道具の準備や適度な休憩と声掛けなど職員間で統一した支援を行い、他の活動にも集中出来るようになりました。また、絵描きよりも外で砂や土や草を握ったり触ったりする感覚遊びが好きな方には創作粘土や貼り絵、指先に絵具を付けて描いたりと様々な方法と職員を替えて対応する事で毎回違った作品を作り上げています。

そのような日頃の取り組みで生み出された利用者さん全員の作品を、テーマを決めてつよし寮美術館に定期的に展示しています。今年度は全国障害者芸術文化祭みやざき大会や高鍋美術館、日南市の作品展に展示する機会がありました。高鍋には皆で鑑賞に行き、自分の作品が展示される喜びを感じられたのではないでしょうか。また、つよし会合同運動会では演舞の衣装(Ｔシャツ)を一人ひとり絵を描いて作成しました。保護者の方にも大変喜んでいただきました。今後もそのような機会を持ち、創作意欲を高めていただきたいと思っています。

このように、喜では利用者さんの自己決定権を尊重し、充実した活動を通して利用者さんへの新たな気づきや成長されていく姿に職員側が刺激を受けさせていただいています。日頃の丁寧な言葉使いから意識し、各自のスキルアップやお互いをサポートし、チームワークつくりを日々大切にしていきます。

目標４　質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

朝礼の様子

天気の良い日は外で絵描き

皆で作ったダルマが高鍋美術館に

芸文祭に展示されました

スタンプを使って作品作り

創作活動で作った運動会の衣装と楽器

職　員　紹　介

喜（よろこび）松田　照秋

趣味
魚釣り（石鯛60㎝オーバー、シブ鯛2kg目指してます）
仕事内容
生活支援員
抱負
利用者さんが快適に活動が出来るよう頑張ります。

喜（よろこび）長友　志穂

趣味
カラオケ
仕事内容
生活支援員
抱負
1日1回は利用者さんの笑顔を引き出す！！

喜（よろこび）竹本　恵子

趣味
読書
仕事内容
看護職員
抱負
利用者さんに笑顔と喜びあふれる日々を提供出来るよう頑張ります！

喜（よろこび）田原　弘行

趣味
温泉、道の駅めぐり
仕事内容
生活支援員
抱負
利用者さんの安心、快適なバス送迎と支援を目指します。